

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 4 年 6 月 13 日(2022.6.13)

【公開番号】特開 2022-56418(P2022-56418A)
【公開日】令和 4 年 4 月 8 日(2022.4.8)
【年通号数】公開公報(特許)2022-063
【出願番号】特願 2021-158894(P2021-158894)
【国際特許分類】

H 0 4 N 1 9 / 7 0 (2 0 1 4 . 0 1)

10

【 F I 】

H 0 4 N 1 9 / 7 0

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 6 月 3 日(2022.6.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

視覚的メディア・データを処理する方法であって：

フォーマット規則に従って、視覚的メディア・データと前記視覚的メディア・データのビットストリームとの間の変換を実行する段階を含み、

前記フォーマット規則は、第 1 のタイプの SEI メッセージとは異なる第 2 のタイプの補足向上情報 (SEI) メッセージが前記ビットストリームに含まれるかどうか、および、どのように含まれるかを指定し、

前記第 1 のタイプの SEI メッセージおよび前記第 2 のタイプの SEI メッセージは、それぞれ、第 1 のタイプの従属ランダムアクセスポイント (DRAP) ピクチャーおよび第 2 のタイプの DRAP ピクチャーを示す、方法。

30

【請求項 2】

前記フォーマット規則は、前記第 2 のタイプの SEI メッセージがランダムアクセスポイント (RAP) ピクチャー識別子を含むことをさらに指定する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 1 のタイプの DRAP ピクチャーまたは前記第 2 のタイプの DRAP ピクチャーについて、ランダムアクセスポイント (RAP) ピクチャー識別子が前記ビットストリームに含まれる、請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 RAP ピクチャー識別子は、16 ビットを使用する符号なし整数である $u(16)$ として、または指数ゴロム符号を使用する符号なし整数である $ue(v)$ として コーディング される、請求項 3 に記載の方法。

40

【請求項 5】

前記フォーマット規則は、さらに、前記第 1 のタイプの SEI メッセージまたは前記第 2 のタイプの SEI メッセージが、前記第 1 のタイプの DRAP ピクチャーまたは前記第 2 のタイプの DRAP ピクチャーのピクチャー順カウンタ (POC) 値に関する情報を含むことを指定する、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記フォーマット規則が、さらに、各 IRAP ピクチャーまたは DRAP ピクチャーが、ランダムアクセスポイント (RAP) ピクチャー識別子に関連付けられることをさらに指定す

50

る、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記フォーマット規則は、さらに、前記 IRAP ピクチャーについての前記 RAP ピクチャー識別子の値が 0 に等しいと推定されることを指定する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記フォーマット規則は、さらに、符号化層ビデオ・シーケンス (CLVS) 内の任意の 2 つの IRAP または DRAP ピクチャーについての RAP ピクチャー識別子の値が互いに異なることを指定する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 9】

前記フォーマット規則は、さらに、符号化層ビデオ・シーケンス (CLVS) 内の IRAP または DRAP ピクチャーについての RAP ピクチャー識別子の値が、IRAP または DRAP ピクチャーのデコード順の昇順で増加することを指定する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 10】

前記フォーマット規則は、さらに、前記 DRAP ピクチャーの前記 RAP ピクチャー識別子の値が、符号化層ビデオ・シーケンス (CLVS) 内のデコード順で前の IRAP または DRAP ピクチャーの値より 1 大きいことを指定する、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 11】

前記変換の実行が、前記視覚的メディア・データから前記ビットストリームを生成することを含む、請求項 1 ないし 10 のうちいずれか一項に記載の方法。

【請求項 12】

前記変換の実行が、前記ビットストリームから前記視覚的メディア・データを再構成することを含む、請求項 1 ないし 10 のうちいずれか一項に記載の方法。

【請求項 13】

プロセッサと、命令を有する非一時的メモリとを含む、視覚的メディア・データを処理する装置であって、前記命令は、前記プロセッサによる実行時に、前記プロセッサに：フォーマット規則に従って、視覚的メディア・データと前記視覚的メディア・データのビットストリームとの間の変換を実行させるものであり、

前記フォーマット規則は、第 1 のタイプの SEI メッセージとは異なる第 2 のタイプの補足向上情報 (SEI) メッセージが前記ビットストリームに含まれるかどうか、および、どのように含まれるかを指定し、

前記第 1 のタイプの SEI メッセージおよび前記第 2 のタイプの SEI メッセージは、それぞれ、第 1 のタイプの従属ランダムアクセスポイント (DRAP) ピクチャーおよび第 2 のタイプの DRAP ピクチャーを示す、装置。

【請求項 14】

命令を記憶している非一時的なコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、前記命令は、プロセッサに：

フォーマット規則に従って、視覚的メディア・データと前記視覚的メディア・データのビットストリームとの間の変換を実行させるものであり、

前記フォーマット規則は、第 1 のタイプの SEI メッセージとは異なる第 2 のタイプの補足向上情報 (SEI) メッセージが前記ビットストリームに含まれるかどうか、および、どのように含まれるかを指定し、

前記第 1 のタイプの SEI メッセージおよび前記第 2 のタイプの SEI メッセージは、それぞれ、第 1 のタイプの従属ランダムアクセスポイント (DRAP) ピクチャーおよび第 2 のタイプの DRAP ピクチャーを示す、

非一時的なコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【請求項 15】

視覚的メディア・データ処理装置によって実行される方法によって生成された視覚的メディア・データのビットストリームを記憶している非一時的なコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記方法は：

10

20

30

40

50

第1のタイプのSEIメッセージとは異なる第2のタイプの補足向上情報（SEI）メッセージが前記ビットストリームに含まれるかどうか、および、どのように含まれるかを判別する段階と；

該判別に基づいて前記ビットストリームを生成する段階とを含む、
非一時的なコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0002】

技術分野

本特許文献は、ビデオ・エンコード、トランスコードまたはデコードを含むデジタル・ビデオ符号化（コーディング）技術に関する。

20

30

40

50